

アジア州の指導にあたって ～多様な経済発展を主題に

● 『学習指導要領解説』の抜粋

世界の諸地域について、次の①～⑥の州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究・解決するなどの活動を行う。州ごとに設ける主題は、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる事象とし、そこで特徴的に見られる地球的課題と関連付けて取り上げること。

- ①アジア ②ヨーロッパ ③アフリカ
④北アメリカ ⑤南アメリカ ⑥オセアニア

I. アジア州：＜主題例＞人口の増加，居住環境の変化に関わる課題などアジア州を大観する学習を踏まえて，例えば，中華人民共和国（以下，中国という。）を対象に「中国では人口問題に対してどのような対策が取られてきたのか」，「経済発展した中国で，なぜ居住環境の問題が起きているのか」などといった問いを立て，前者の場合，中国における人口動態，国内の経済格差，地域間の人口移動などを地域の人々の生活と関連付けて多面的・多角的に考察して，人口問題に関わる一般的課題と中国における地域特有の課題とを捉える。

● 指導上の留意点

アジア州の範囲は広大であり，中国や韓国のように日本とも密接な関係を持ち，身近に感じられる東アジアから，カザフスタンやウズベキスタンなど，中学生には地図上の位置さえわからない中央アジアまでさまざまな国が含まれる，多様性に富んだ地域である。

学習の取り組み方としては，従来の地誌学習のように，それらの事象を項目的に羅列して学習することは避け，特にアジア州で取り上げるべき地理的事象を主題とした人々の生活の様子を学習し，アジア州の地域的特色を追究していきたい。

本ワークシートでは，アジア州全体を大観し，アジア州の中での地域区分や自然環境を理解したうえで，各学習テーマに従って，具体的な地域の学習に取り組みたい。また，地図の活用やグラフ・表の読み取りなど，基礎的な地理的技能の修得にも留意したい。

テーマに基づいた学習を進めていく中で，各地域に暮らす人々の生活に共通点があることを理解させるとともに，各地域の著しい経済発展の中で，日本が果たしてきた役割や密接な関係にも留意したい。

● ワークシートの単元構成 <想定する時間数：全体で7時間>

時数	単元名	学習内容	主な学習項目	ページ
1	アジア州をながめて	アジアの位置と広がり 地域区分と主な国々	ユーラシア大陸，アジア州の地域区分 主な国名と位置	p. 6
2	アジア州の自然環境	アジアの地形と気候 モンスーンと農業	気候帯，植生，季節風 稲作，焼畑，遊牧，プランテーション	p. 7
3	アジア州の人口分布と変化	世界の中に占めるアジアの人口 人口増加とその対策	人口分布の偏在，都市化 人口爆発，一人っ子政策とその後	p. 8
4	アジア州の多様な民族	さまざまな民族	民族と宗教・言語，少数民族 地域紛争	p. 9
5	アジア州の資源・エネルギー	アジアの資源分布 石油の分布と輸出	鉱産資源（石炭，鉄鉱石など） 砂漠，イスラム教，経済発展	p.10
6	アジア州の経済発展	進む工業開発 経済発展と人々の暮らし	アジア NIES, BRICS, グローバル化 経済格差，環境問題	p.11
7	アジア州のまとめ	大きくとらえたアジア 多様性からみたアジア	白地図上に主な地名や語句を整理する	p.12

アジア州 ①

アジア州を ながめて

●学習のねらい●

地図帳を使って、アジア州の位置と広がりや地域区分、どのような国々があるのか、ながめてみよう。

アジア州は世界最大の大陸であるユーラシア大陸の大部分とその周りの島々からなる広大な地域です。南北は北極海から赤道付近まで、東はベーリング海峡、西はウラル山脈から地中海を結ぶ線までの広がりがあります。この線でヨーロッパ州と、スエズ運河と紅海でアフリカ州と接しています。

このように広大なアジア州は多くの国から成り立っているため、さらに、地理的な位置から細かく地域区分されます。日本を含め、韓国や中国など日本とも関係が深い国が集まる東アジア、近年経済が発展して日本とのつながりも強くなっ

てきた東南アジア、信仰する宗教ごとに独立を果たした南アジア、砂漠が広がり日本とは異なった自然環境の中で人々が生活する西アジア、旧ソ連から1990年代以降に独立した中央アジアなどのように区分することができます。

47か国からなるアジア州の中には、面積が大きい中国、インド、サウジアラビア、インドネシアなどがあります。また、人口が多いことも特色の一つです。人口1億人をこえる国は、日本のほか、中国、インドなど全部で7か国あり、アジア州の総人口は世界の総人口の約6割を占めています（ロシアを除く）。

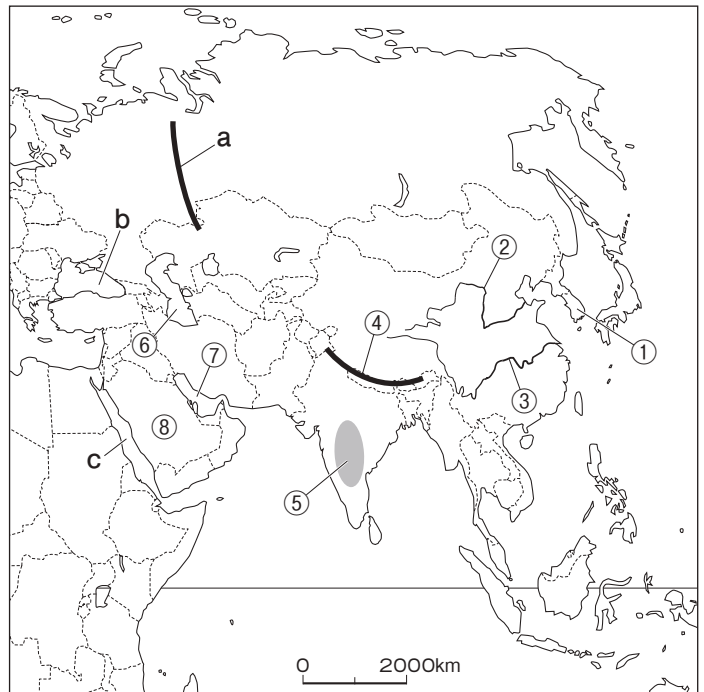
課題 1 右の地図にアジア州とヨーロッパ州の境界線を赤で、アジア州とアフリカ州の境界線を青で記入しよう。

課題 2 右の地図の①～⑧にあてはまる自然地名を記入しよう。

①	半島	②	
③		④	山脈
⑤	高原	⑥	海
⑦	湾	⑧	半島

課題 3 州の境界の役目を果たしているaの山脈名、b・cの海名を記入しよう。

a	山脈	b	海
c	海		



課題 4 地図帳を見て、次のa～mの国名を、東アジア、東南アジア、南アジア、西アジア、中央アジアに分けよう。

- a. 大韓民国 b. イラン c. インドネシア d. タイ e. モンゴル f. インド g. 中国
h. カザフスタン i. イラク j. スリランカ k. フィリピン l. クウェート m. ベトナム

東アジア		東南アジア	
南アジア		西アジア	
中央アジア			

課題 5 地図帳を参考にして、日本と関係が深い国を挙げて、どのような結びつきがあるか調べてみよう。

アジア州 ②

アジア州の 自然環境

●学習のねらい●

気候や地形などの自然環境と人々の生活の様子を、農業との関係から考えてみよう。

広大なアジア州を気候で区分してみると、熱帯から寒帯まで、あるいは湿潤気候から乾燥気候まで、ほとんどの気候が含まれています。熱帯は赤道に近い東南アジアや南アジアの沿岸部、温帯は東アジアの広範囲や南アジアの北部地域、亜寒帯は北海道や中国からロシアにかけての地域、乾燥帯は西アジアや中央アジア、南アジアの西部、東アジアの内陸部、寒帯は北極海沿岸に広がっています。また、チベット高原など標高の高いところでも、寒冷な気候が見られます。

地形的には、長江や黄河、ガンジス川

など大きな河川の流域には平野が広がっていますが、高原や山脈の分布が目立ち、全体的には標高が高い地域といえます。

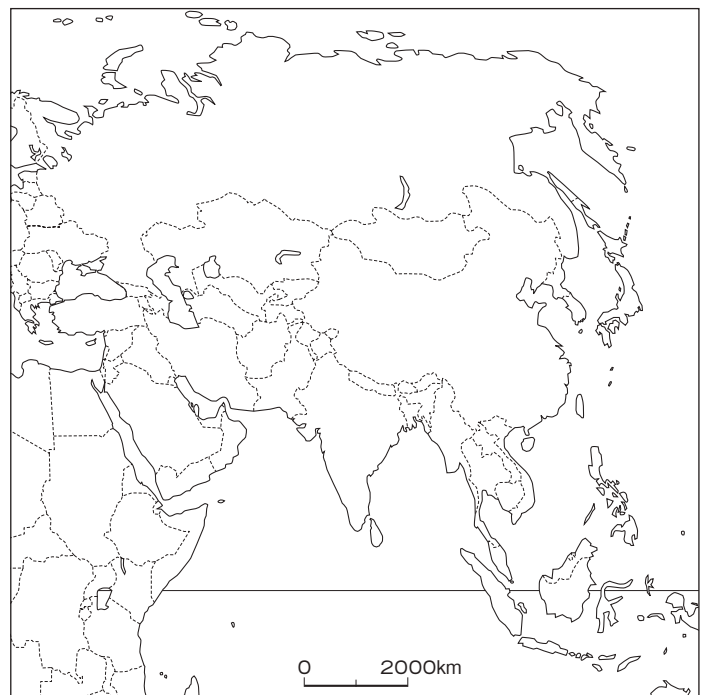
このような気候と地形が組み合わさることによって、それぞれの地域でさまざまな農業が成立しています。季節風が吹く温暖で湿潤なアジアの平野では稲作が盛んですが、平野に恵まれない地域でも、棚田を利用した稲作が見られます。また、熱帯地域では、バナナ、天然ゴム、油やしなどの熱帯性の作物を大規模に栽培するプランテーション農業が盛んです。

課題 1 地図帳を参考にして、気候の様子に関する次の表に、下のa～fからあてはまる国を二つずつ選び、表を完成させよう。

四季の区別がある（温帯）		
一年中気温が高い（熱帯）		
砂漠や草原が広がる（乾燥帯）		

- a. サウジアラビア b. 日本 c. 韓国
d. マレーシア e. モンゴル f. タイ

課題 2 地図帳にある、世界の気候帯の図を見て、アジアの雨の降り方の特徴を考えてみよう。



課題 3 次の表は、世界の米の生産量の国別割合の上位10か国です。アジアに含まれる国を選び、上の地図に着色してみよう。

①中国 (27.1%)	②インド (22.1%)	③インドネシア (10.6%)	④バングラデシュ (7.2%)	⑤ベトナム (5.6%)
⑥タイ (4.1%)	⑦ミャンマー (3.3%)	⑧フィリピン (2.4%)	⑨ブラジル (1.5%)	⑩パキスタン (1.4%)

(2020年「FAOSTAT」より)

課題 4 アジアで稲作が盛んな地域は、降水量が多いという共通点があります。そのような地域に雨をもたらす風を何といいますか。また、7月の風の向きを上地図に記入しよう。

課題 5 降水量の少ない地域では、どのような農牧業が行われているか調べてみよう。

アジア州 ③

アジア州の人口分布と変化

●学習のねらい●

多くの人口をかかえる国はどこか。どのような地域で人口増加が続いているのか。地図帳や資料を使い、人口増加にともなう問題点や解決方法を調べてみよう。

アジア州には、世界の総人口の約6割の人々が生活しています。例えば日本の人口増加率は低く、少子化対策もとられるようになりましたが、アジアの多くの国では人口増加が続いています。

中国は、長い間、人口増加率が高い時代が続き、他の国を大きく引きはなし、日本の約25倍の国土に14億人あまりの人々が生活するようになりました。このような人口増加をおさえるため、さまざまな対策が実施されました。その一つが、1979年から行われた「一人っ子政策」でした。

「一人っ子政策」は一組の夫婦が産み育てる子どもは一人だけにする、というものです。農村地帯では、労働力や跡取

りの男子がほしいという願いが強く、この制度は農村地帯の人々を大変なやませるものとなりました。その一方で、シャanghaiなどの大都市では、一人っ子ということで、あまやかされて育つ子どもが増えたことが問題点として挙げられます。

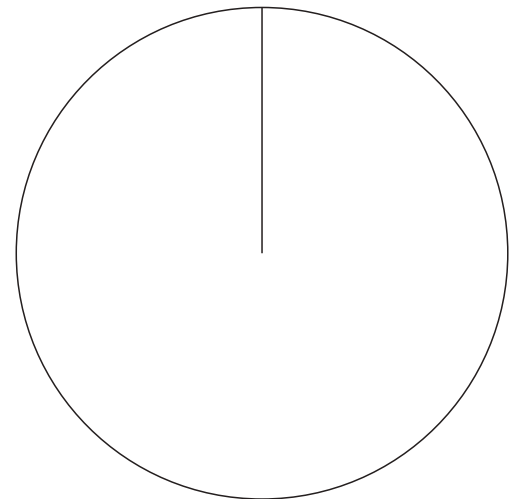
しかし、若い世代の人口が減少し、人口に占める高齢者の割合が急速に高まるという予測から、2021年には子どもを三人まで産んでよいという政策に変更されています。

また、世界第2位の人口を持つインドは、人口増加が続いているため、2020年代のうちに中国を追いぬくと予測されています。

課題 1 次の表は、人口が多い上位10か国とその人口、世界人口に占める割合を示しています。この表から、「国別人口の割合」の円グラフを作成しよう。

順位	国名	人口 (%)
1	中国	14億4000万 (18.5%)
2	インド	13億8000万 (17.7%)
3	アメリカ合衆国 <small>がっしゅうこく</small>	3億3100万 (4.2%)
4	インドネシア	2億7400万 (3.5%)
5	パキスタン	2億2100万 (2.8%)
6	ブラジル	2億1300万 (2.7%)
7	ナイジェリア	2億1000万 (2.7%)
8	バングラデシュ	1億6500万 (2.1%)
9	ロシア連邦 <small>れんぽう</small>	1億5000万 (1.9%)
10	メキシコ	1億2900万 (1.7%)

(2019年 国連資料より)



課題 2 完成した「国別人口の割合」の円グラフの中のアジアの国を着色しよう。

課題 3 中国とインドの人口を合わせると、世界総人口の約何割を占めることになりますか。

約 割

課題 4 中国で、増え続ける人口をおさえるために行われたことを、簡単にまとめてみよう。

課題 5 中国では、人口増加率を下げることに成功しましたが、その一方で問題も発生しました。どのような問題が発生したのか調べてみよう。

アジア州 ④

アジア州の 多様な民族

●学習のねらい●

地図帳を使って、少数民族が生活している地域や生活している環境、さまざまな宗教の分布を確認してみよう。

民族とは、言語や宗教などの文化的な共通点を持った人々の集団です。この広いアジア州にはさまざまな民族が生活しています。

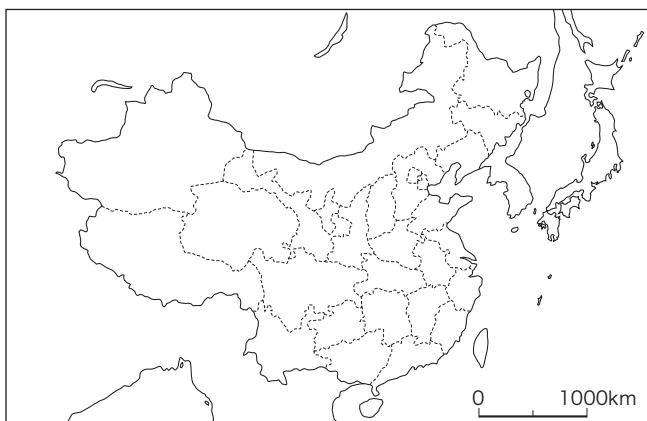
人口最大の国、中国には多数派の漢族以外に多くの少数民族が暮らしています。同じ中国という国に暮らしながらも、それぞれの文化や生活習慣にしたがって生活しています。さらに、同じ漢族でも、生活している地域により文化の違いが見られます。料理を例にとると、華北地方では小麦を使ったマントーや餃子などが食されるのに対し、華中や華南では、主な材料として米が使用されています。また、華中の内陸部ではマーボー豆腐のようにとうがらしやさんしょうなどの香辛

料を使った料理が多くなります。さらに、西部に生活しているウイグル族のようにイスラム教を信仰している地域では、豚肉は食べず、羊肉を食べています。

南アジアの国々は、信仰する宗教ごとに独立を果たしましたが、異なった民族が同じ国で暮らすことはめずらしくありません。しかし、言語や宗教が異なる人々が、いっしょに暮らすと紛争の原因になることもあります。中国では、一部のチベット族やウイグル族が中国政府と対立していたり、西アジアのパレスチナでは、イスラム教徒のパレスチナ人とユダヤ教徒のイスラエル人との間で紛争が続いています。

課題 1 中国の少数民族が生活する、シンチヤンウイグル自治区を赤、チベット自治区を青、内モンゴル自治区を黄で、下の地図に着色しよう。

課題 2 三つの自治区では、どのような環境（地形・気候）で生活しているのか、表にまとめよう。



自治区名	環境
シンチヤンウイグル自治区	() 砂漠が広がる乾燥帯であるため、生活できる場所が限られている。
チベット自治区	3000 m 以上の () 高原に位置し、標高が高いため、気温が低い。
内モンゴル自治区	() 砂漠が広がる乾燥地帯であるため、羊や馬を連れて、移動しながら生活する人々がみられる。

課題 3 次の国々で主に信仰されている宗教を右の の a～d から選んで記入しよう。

- ① ベトナム () ② インド ()
 ③ フィリピン () ④ インドネシア ()
 ⑤ マレーシア () ⑥ タイ ()
 ⑦ イラン () ⑧ トルコ ()

- a. キリスト教 b. 仏教
 c. ヒンドゥー教 d. イスラム教

課題 4 東南アジアの国々には多くの中国系の人々（華僑・華人）が生活しています。

- ① 中国系の人々の人口が最も多い東南アジアの国はどこですか。
 ② 人口に占める中国系の人々の割合が高い東南アジアの国はどこですか。

①

②

課題 5 西アジアのパレスチナとよばれる地域には、長年にわたり民族対立がみられ、パレスチナ問題といわれています。パレスチナ問題とは、どのような問題なのか調べてみよう。

アジア州 ⑤

アジア州の資源・エネルギー

●学習のねらい●

日本人の生活に欠かすことができない石油は、特定の地域に集中していることを確認し、石油生産がその地域にもたらした影響や人々の生活について調べてみよう。

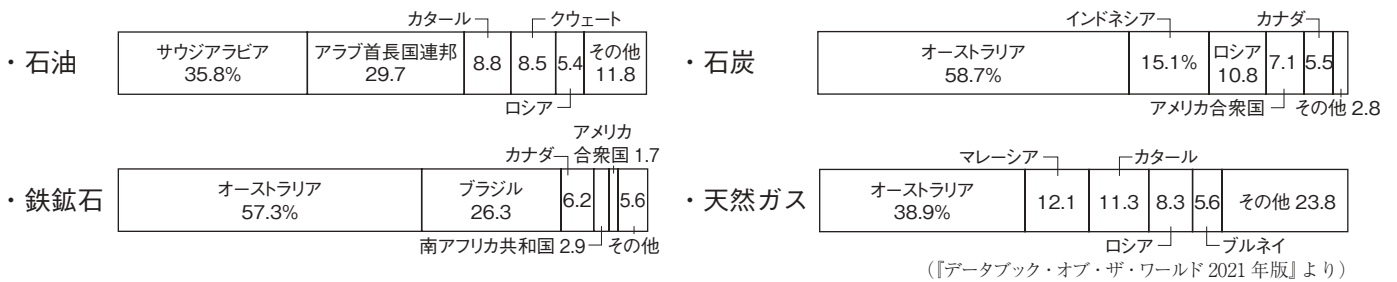
現在、最も重要な資源の一つが石油です。その特徴は、石油は地球上にかたよって分布していること、そして、産出している国と使用している国が異なっていることです。

アジア州では、西アジアから中央アジアにかけて、特にペルシア湾岸地域に大きな油田が分布しています。そこで、採掘された原油は、パイプラインやタンカーを利用して、アメリカ合衆国やヨーロッパの先進国、日本を含む東アジアの国々などへ運ばれています。世界有数の産油国であるサウジアラビアをはじめ、ペルシア湾岸の国々は乾燥帯に含まれ、砂漠が広がる地域です。自然環境には恵まれていませんが、石油の輸出によって

得たばく大な利益を利用して、近代的な都市の建設が進められています。

石油収入により近代化が進む一方で、伝統的な暮らしに変化が起きています。砂漠が広がるこの地域では、らくだなどの家畜を連れて、牧草を求めながら移動生活をする遊牧が伝統的に営まれていました。しかし、かつての遊牧民は定住するようになり、また、荷物を運ぶらくだの役割はトラックが果たすようになりました。その一方で、聖地メッカの方向に向かって1日5回行う礼拝や、女性が他人に肌を見せないようにする服装、豚肉や酒類を禁じる食事など、イスラム教徒としての生活はきちんと守られています。

課題 1 次のグラフは、日本のエネルギー資源の輸入相手上位5か国とその割合（2019年）を示したものです。アジアの国の部分に着色してみよう。



課題 2 石油生産量の多い国は、アジアの中では特定の地域に集中しています。次のa～dの中で、石油産出が集まっている地域として正しいものはどれですか。一つ選ぼう。

- a. 東アジア b. 東南アジア c. 南アジア d. 西アジア

課題 3 サウジアラビアやイランなどでは宗教の影響で、次のような生活をしている人々が多くみられます。このような生活をしている人は、何という宗教を信仰しているのか答えよう。

- 1日に5回、聖地であるサウジアラビアのメッカの方角に向かって礼拝を行う。
- 食事の時に、左手を使うことができない。また、豚肉を食べることも禁止されている。
- 女性が外出する時には、頭上から足先まで黒い衣装をまとう。
- 生活の規範が書かれている聖典コーランにしたがって生活している。

課題 4 右の表は、主な原油輸入国とその輸入量の世界に占める割合を示したものです。これらの国の共通点をまとめよう。

順位	原油輸入国	%
1	中国	18.1
2	アメリカ合衆国	17.0
3	インド	9.5
4	日本	6.7
5	韓国	6.5
6	ドイツ	3.9
7	イタリア	2.9
8	スペイン	2.8

(数値は2017年、『世界国勢図会 2020/21年版』ほかより)

課題 5 石油輸出国は輸出によって、大きな利益を得ました。それらの国は、利益を何に使って、国土を発展させているか調べてみよう。

アジア州 ⑥

アジア州の 経済発展

●学習のねらい●

アジア各国が、どのような方法で工業化を進めてきたのか調べるとともに、人々の暮らしがどのように変化してきたか、考えよう。

アジア州には、^{ブリックス}BRICSとよばれる国々に含まれる中国、インドや、^{ニース}NIESとよばれる^{かんこく}韓国、^{たいわん}台湾、^{ホンコン}ホンコン、シンガポール、さらに東南アジアの^{アセアン}ASEAN諸国など、近年工業化が進み、著しい経済発展をとげて注目されている国や地域がたくさんあります。

中国は1970年代まで、政府の決めた計画にそって農業や工業の生産を行っていたため、生産力は高くありませんでした。しかし、農民や企業が自主的に活動できるように^{きぎょう}経済制度が改革されると、生産力が高まりました。さらに、南部では外国企業を招き、高度な技術や資本を導入する経済特区のしくみが成功しました。

外国企業にとっても利点がある経済特区は、1990年代以降、沿岸部全体に広

がり、働く機会が増えた中国の人々の生活水準は急速に向上していきました。

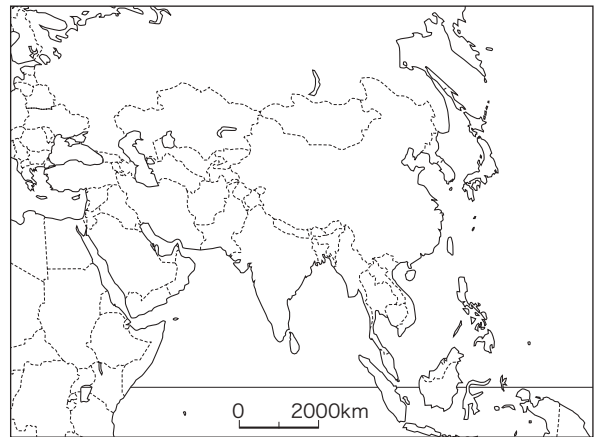
韓国は、1960年代から工業化を進めることに成功しました。韓国は日本と同じように資源には恵まれていないので、臨海部に工業地域を建設し、原材料を外国からの輸入に頼りながら製品の組み立てや加工を行い、製品を輸出することで成長してきました。

東南アジア諸国は、農産物や資源の輸出に頼っていましたが、1980年代から日本を含む外国企業が進出し、衣類や電化製品を製造し、輸出するようになりました。その結果、農産物や資源の輸出が減り、工業製品の輸出割合が増えています。

課題 1 右の地図中のNIES（韓国、シンガポール、ホンコン、台湾）を赤で、BRICS（中国、インド、ロシア [※ブラジル、南アフリカ共和国は除く]）を青で着色してみよう。

課題 2 NIESの成長についての説明文となるように、次の文章の①～③の（ ）にあてはまる語句を記入しよう。

NIESの国や地域は、海外から①（ ）を輸入し、安い②（ ）を利用して加工し、それを安い価格で③（ ）することで成長してきました。



課題 3 中国では、工業の発展にともなって、深刻な^{かんきょう}環境問題が発生しています。どのような問題があるか、調べてみよう。

課題 4 中国の様々な^{えいきょう}環境問題の中には、日本にも^{あた}影響を与えているものがあります。それは何か、一つ挙げてみよう。

課題 5 ^{はってんとじょうこく}発展途上国では、首都をはじめとする都市に住む人と、農村に住む人との生活には、^{けいこう}経済的な格差が生まれる傾向があります。その理由を考えてみよう。

課題 6 発展途上国で工業が発展してくると、日本の企業の中には、それらの国々に工場を移すものもみられます。日本企業にとって、どのようなよい点があるか考えてみよう。

アジア州 ⑦

アジア州の まとめ

●学習のねらい●

アジア州について学習してきたことがらを、地図で確認しながらまとめよう。

アジア州を、地域区分、自然環境、農業、人口、民族、工業、経済発展など、さまざまな視点で学習してきました。これらの内容について、地図を使って確認してみましょう。

アジア州は古くは古代文明の発祥地、あるいは現在、世界中の人々が信仰している宗教の発祥地として、長い歴史に育まれてきた地域です。しかし、近代に入るとアジアの多くの国は植民地として支配され、独立後も発展途上国として経済的に恵まれない地域になりました。しかし近年、アジア各地で、低い賃金の労働力、豊富な石油資源など、それぞれの

国の特色を生かして経済が急速に発展し、世界の中でも特に活気のある地域となっています。

ただし、この経済発展はすべての国や地域にあてはまるわけではありません。国と国との間には経済的な格差がみられ、さらには、一つの国の中でも暮らしている地域が違うことで、生活水準に大きな格差が生まれています。また、経済発展を急ぎすぎたため、大気汚染や酸性雨、水質汚染や希少動物の絶滅の危機などの環境破壊が深刻になっている地域もあります。

課題 1 次の①～⑩の文章を、右の地図中に同じ番号で示した地域を確認しながら、文中の（ ）にあてはまる語句や数字を入れて完成させ、アジア州の学習を振り返ろう。

- ① 朝鮮半島 ……（ ）と（ ）は北緯（ ）度を境にして南北に分断され、南北統一の努力が続いています。
- ② サンシヤ（三峡）ダム ……（ ）の中流に世界最大のダムが建設され、水力発電や農業用水の確保などに役立っていますが、多くの人に移住を強いたり、環境破壊などの問題も起きています。
- ③ シャンハイ ……（ ）企業を誘致したことで工業が発展し、人々の生活水準が向上しました。
- ④ 漢族 ……中国の14億人をこえる人口のうち、約90%を占め、主に東部に生活しています。人口増加を抑制するため、（ ）政策を行っていましたが、近年緩和が進んでいます。
- ⑤ 中国西部 ……少数民族が生活する（ ）区があります。高原や砂漠が広がり自然環境に恵まれないため経済発展が遅れ、東部との経済格差が広がっています。
- ⑥ ASEAN ……東ティモールを除く東南アジア（ ）か国で地域の政府間組織をつくり、協力しながら経済発展を進めています。東南アジアでは、華人とよばれる（ ）系住民の活躍も目立ちます。
- ⑦ 穀倉地帯 ……メコン川やチャオプラヤ川など、大きな河川の河口に広がる地域では米、インダス川中流部のパンジャブ地方では（ ）など穀物生産が盛んです。
- ⑧ インド ……（ ）に次ぐ世界第2位の人口を持つ国です。近年はICT産業が発達し、経済発展が著しく、注目されています。
- ⑨ ペルシア湾沿岸 ……世界的な（ ）地帯で、サウジアラビアやアラブ首長国連邦など、日本の原油輸入先もこの地域に集まっています。
- ⑩ エルサレム ……（ ）教、（ ）教、ユダヤ教の聖地であるため、紛争の原因となることもあります。

